

1. 国の主な動向

国では、第8次医療計画の策定に向け、「第8次医療計画等に関する検討会」や各ワーキンググループ等で協議が進められており、本年12月頃に意見がとりまとめられ、年度内には、意見を踏まえた基本方針（告示）・医療計画作成指針（通知）の改正がなされる予定です。

現在の主な論点について

（1）医療圏について

- ① 二次医療圏を見直す基準（人口20万人未満、患者流入率20%未満及び患者流出率20%以上に該当）については従来の通りとしつつ、基準に該当する二次医療圏を見直さない場合は、医療計画にその考え方を明記させることを検討。
また、5疾病・5事業及び在宅医療における圏域については、引き続き弾力的に設定することを可能とすることを検討。
- ② 二次医療圏は、医師確保計画や外来医療計画等の基本的な区域単位となっており、また保健所の所管区域や老人福祉圏域等とも関連性があることから、県が医療計画を策定する際は医療圏の設定について優先的に議論を行うとともに、その検討状況を先んじて国に報告するよう求め、国としてもその報告に基づいた医師偏在指標の再算出等を追加で行うことを検討。

（2）基準病床数について

- ① 基準病床数の算定式について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けない形で、用いるデータを直近のものに更新することを検討（病床利用率について、H28～R元年のデータを使用する案が濃厚）
- ② 基準病床数の算定に用いる平均在院日数について、地域差が縮減する仕組みを検討。
※平均在院日数は、地域の在宅医療の状況等が関係しており、病院だけの問題ではない。

（3）指標（総論）について

地域の現状や課題に即した施策の検討において、ロジックモデル等のツールの活用を検討

（4）新興感染症（追加）について

6事業目（新興感染症対応）については、感染症法等の改正案や同法に基づく感染症対策（予防計画）に関する検討状況を踏まえながら、今後議論する予定。

※第15, 16回第8次医療計画等に関する検討会（R4. 10. 7、26開催）資料からの抜粋

2. 本県の対応

県では、引き続き、国の動向を注視していく。

青森県保健医療計画見直しに係るスケジュールは、別添資料のとおりとする。

医療計画の策定に係る指針等の全体像

国資料（R3.6.18）
第1回第8次医療計画
等に関する検討会資料抜粋

【医療法第30条の3】

厚生労働大臣は基本方針を定める。

基本方針【大臣告示】

医療提供体制の確保に関する基本方針

【医療法第30条の8】

厚生労働大臣は、技術的事項について必要な助言ができる。

医療計画作成指針【局長通知】

医療計画の作成

- 留意事項
- 内容、手順 等

疾病・事業及び在宅医療に係る 医療体制構築に係る指針【課長通知】

疾病・事業別の医療体制

- 求められる医療機能
- 構築の手順 等

【法第30条の4第1項】

都道府県は基本方針に即して、かつ地域の実情に応じて医療計画を定める。

医療計画

○疾病・事業ごとの医療体制（*）

- ・ がん
- ・ 脳卒中
- ・ 心筋梗塞等の心血管疾患
- ・ 糖尿病
- ・ 精神疾患
- ・ 救急医療
- ・ 災害時における医療
- ・ へき地の医療
- ・ 周産期医療
- ・ 小児医療（小児救急含む）
- ・ 在宅医療
- ・ その他特に必要と認める医療

○地域医療構想（※）

- 地域医療構想を達成する施策
- 病床機能の情報提供の推進
- 外来医療の提供体制の確保（外来医療計画）（※）
- 医師の確保（医師確保計画）（※）
- 医療従事者（医師を除く）の確保
- 医療の安全の確保
- 二次医療圏・三次医療圏の設定
- 医療提供施設の整備目標
- 医師少数区域・医師多数区域の設定
- 基準病床数 等

（*）令和6年度からは、「新興感染症等の感染拡大時における医療」を追加。

※ 地域医療構想については「地域医療構想策定ガイドライン」、外来医療計画については「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」、医師確保計画については「医師確保計画策定ガイドライン」を厚生労働省からそれぞれ示している。

- 現行の医療計画における課題等を踏まえ、特に集中的な検討が必要な項目があることから、本検討会の下に、以下の3つのワーキンググループを立ち上げ、議論することとしてはどうか。（構成員は、座長と相談の上、別途定める）
- 新興感染症等への対応に関し、感染症対策（予防計画）に関する検討の場と密に連携する観点から、双方の検討会・検討の場の構成員が合同で議論を行う機会を設けることとしてはどうか。

第8次医療計画等に関する検討会

- 医療計画の作成指針（新興感染症等への対応を含む5疾病6事業・在宅医療等）
- 医師確保計画、外来医療計画、地域医療構想 等

※具体的には以下について検討する

- ・医療計画の総論（医療圏、基準病床数等）について検討
- ・各検討の場、WGの検討を踏まえ、5疾病6事業・在宅医療等について総合的に検討
- ・各WGの検討を踏まえ、地域医療構想、医師確保計画、外来医療計画について総合的に検討

※医師確保計画及び外来医療計画については、現在「医師需給分科会」で議論。
次期計画の策定に向けた議論については、本検討会で議論。

【新興感染症等】

感染症対策（予防計画）
に関する検討の場 等

連携

【5疾病】

各疾病に関する
検討の場 等

報告

地域医療構想及び 医師確保計画に関する ワーキンググループ （仮称）

- 以下に関する詳細な検討
- ・医師の適正配置の観点を含めた医療機能の分化・連携に関する推進方針
- ・地域医療構想ガイドライン
- ・医師確保計画ガイドライン 等

外来機能報告等に関するワーキンググループ（仮称）※

- 以下に関する詳細な検討
- ・医療資源を重点的に活用する外来
- ・外来機能報告
- ・地域における協議の場
- ・医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関 等

在宅医療及び 医療・介護連携に関するワーキンググループ （仮称）

- 以下に関する詳細な検討
- ・在宅医療の推進
- ・医療・介護連携の推進 等

* 第7次医療計画の策定に当たり、5事業については、それぞれ、以下の場で検討した上で、「医療計画の見直し等に関する検討会」に報告し、協議。第8次医療計画の策定に向けた検討も、同様に進める予定。

・救急医療、災害医療

救急・災害医療提供体制等の
在り方に関する検討会

・へき地医療

厚生労働科学研究の研究班

・周産期医療、小児医療

有識者の意見交換

※検討事項の取りまとめ後、外来医療計画ガイドラインに関する検討の場として改組を予定。

第8次医療計画に向けた取組（全体イメージ）

国資料（R3.6.18）
第1回第8次医療計画
等に関する検討会資料抜粋

国

都道府県

		医療計画	新興感染症	地域医療構想	医師確保計画	外来医療計画
R3 [2021]	4～6月	医療部会（6/3）				
	7～9月	第8次医療計画等に関する検討会 開催		地域医療構想及び医師確保計画に関するWG開催		外来機能報告等に関するWG開催
	10～12月					外来機能報告等に関する取りまとめ
	1～3月	・総論（医療圏、基準病床数等） ・各論（5疾病、6事業、在宅等） について各検討会等での 議論の報告	感染症対策に関する検討の場と 連携しつつ議論	地域医療構想の 推進	ガイドライン改正に向けた検討	ガイドライン改正に向けた検討
R4 [2022]	4～6月					
	7～9月					
	10～12月	報告書取りまとめ （基本方針改正、医療計画作成指針等の改正等）			報告書取りまとめ （ガイドライン改正等）	報告書取りまとめ （ガイドライン改正等）
	1～3月	基本方針改正（告示） 医療計画作成指針等の改正（通知）			ガイドライン改正（通知）	ガイドライン改正（通知）
R5 [2023]		第8次医療計画策定			次期医師確保計画策定	次期外来医療計画策定
R6 [2024]		第8次医療計画開始			次期医師確保計画開始	次期外来医療計画開始
R7 [2025]						

		保健医療計画			
		医療審議会	医療計画部会	5 疾病・5 事業 + 在宅	6 事業目 (新興感染症対応)
令和5年度	4 ～ 6月		<ul style="list-style-type: none"> ●事前通知 5月頃 <ul style="list-style-type: none"> ・見直しの進め方（案）・国の指針の内容 ・構成・策定手順及びスケジュール（案） ・二次医療圏（案）の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ●5 疾病・6 事業等に係る各協議会等 5月頃～（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・見直しの進め方 ・国の指針の内容 ・各疾病・事業ごとの医療圏の弾力的な設定に係る検討 ・各疾病・事業ごとの医療連携体制 ・各疾病・事業ごとの指標・数値目標（指標のロジックを含む）施策 など（各協議会等は3回程度開催） 	
	7 ～ 9月		<ul style="list-style-type: none"> ●第1回 計画部会 9月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針（案）の決定 構成・策定手順・スケジュール ・二次医療圏（案）の決定 ・各協議会の検討状況（指標、医療圏等） 		
	10 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回 審議会 10月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・部会の検討状況報告等 ●第2回 審議会 12月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・部会の検討状況報告等 	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回 計画部会 11月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・各協議会の検討状況（指標のロジック、医療圏等） ・基準病床数の試算 	<ul style="list-style-type: none"> ●新興感染症については、新たに協議会を組織し、予防計画の見直し（県と医療機関との間で、病床、発熱外来等への医療の確保等に関する協定締結に向けた協議を含む）と併せて検討する予定。（今後、感染症法等改正法案が可決・成立し、国から基本指針が示され次第着手予定。） 	
	1 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回 審議会 3月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・医療計画案を医療審議会に諮問 ・答申 	<ul style="list-style-type: none"> ●第3回 計画部会 1月頃（検討内容） <ul style="list-style-type: none"> ・素案の提示 ・基準病床数（案）決定 		
令和6年度		<div>新たな保健医療計画施行</div>			令和6年4月1日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律施行